



1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	横浜アンパンマンこどもミュージアム&モール 移転プロジェクト	階数	地上4F		
建設地	横浜市西区みなとみらい6丁目2番	構造	S造		
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	2,200 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	3,240 時間/年(想定値)		
建物用途	物販店,飲食店,集会所,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2017年11月9日		
敷地面積	5,650 m ²	作成者	當 栄司		
建築面積	4,422 m ²	確認日	2017年12月19日		
延床面積	14,054 m ²	確認者	塩谷 尚斉		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 「都市の遊び場」をテーマに、緑に溢れた環境を整備し、幼児から年配者まで幅広い世代が集う施設づくりをめざします。みなとみらい景観ガイドラインを遵守し、景観に配慮した計画としています。また地域熱暖房熱源を採用して省エネルギーに配慮した計画としています。	その他 ・建設工事中における廃棄物の削減及びリサイクルに配慮する。	
Q1 室内環境 ・建築材料 (F☆☆☆☆) をほぼ全面に使用。	Q2 サービス性能 ・ゆとりのある階高を確保 ・売場の天井高を確保 ・売場面積に対して充分なりフレッシュネスを確保	Q3 室外環境(敷地内) ・ commonspaceの確保 ・みなとみらい景観ガイドラインを遵守した計画
LR1 エネルギー ・トップランナー変圧器、LED器具の採用や管理運営体制の充実等により、設備システムの高効率運用及びエネルギーの有効活用に配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具、人感センサーの採用 ・躯体と内装が容易に分離可能な計画	LR3 敷地外環境 ・付置義務駐車台数より充分に多い駐車台数を確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



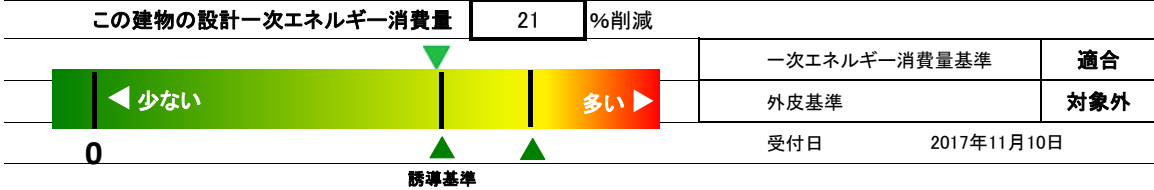
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **横浜アンパンマン子どもミュージアム&モール移転プロジェクト**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①断熱性能の高い窓材等を採用し、室内への熱負荷低減を図っている。
- ③BEI=0.79。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

- ⑨断熱性能の高い窓材等を採用し、室内への熱負荷低減を図っている。
- ⑪ほぼ全面的にF☆☆☆☆または規制対象外の材料を使用している。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

- ⑫ゆとりのある階高、天井高を確保している。

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

- ⑭歩道状空地からセットバックしたコモンスペースを計画し、風を導く計画とし温熱環境を緩和している。

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防 災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 3**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

- ⑱自然種の保全に配慮した植栽計画を行い、灌水装置を設置し適切な維持管理を行っている。
- ⑲みなとみらい景観ガイドラインを遵守し、地域に開けたまちなみ景観計画を行っている。
- ⑳メインエントランス部分にピロティ空間を確保し、誰でも立ち入れる空間を形成し、地域性への配慮を行っている。

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	
